

導入の流れ

1



お問い合わせ・お申込み

WEBまたはお電話にてお問い合わせください。
WEB : <https://skyseeker.jp/investigation/satokarte/>
TEL : 03-6260-8960 (平日: 9:00 - 18:00)

QRコードから
お問い合わせ



2



面談・ヒアリング

対象地域や獣種、現状の課題、ご希望の分析内容などについてお伺いします。
WEBでの面談も可能です。

3



データの受け渡し

ドローンで撮影されたデータをご提供いただきます。
弊社でドローン機材の貸出し、撮影を行うことも可能です。

4



データ解析

独自アルゴリズムにより被害リスクを数値化し、
対策の優先順位を明確にします。

5



資料一式を納品

解析結果をベースにそのまま説明に活用できるリスクマップや
報告書を作成し、納品いたします。

最短 5営業日で納品可能

届いたその日から判断と説明に使えます。

※本サービスは、ドローンデータおよび環境条件等に基づき、被害リスクや対策優先度を推定・可視化するものです。
野生動物の出没や被害発生を保証・断定するものではありません。

※本結果は、現地確認や地域の実情を踏まえた対策検討を支援するための基礎資料として活用することを想定しています。



株式会社スカイシーカー

東京都千代田区神田富山町25番地 サンクス神田ビルB1F

TEL: 03-6260-8960 MAIL: ss-ict-support@skyseeker.jp

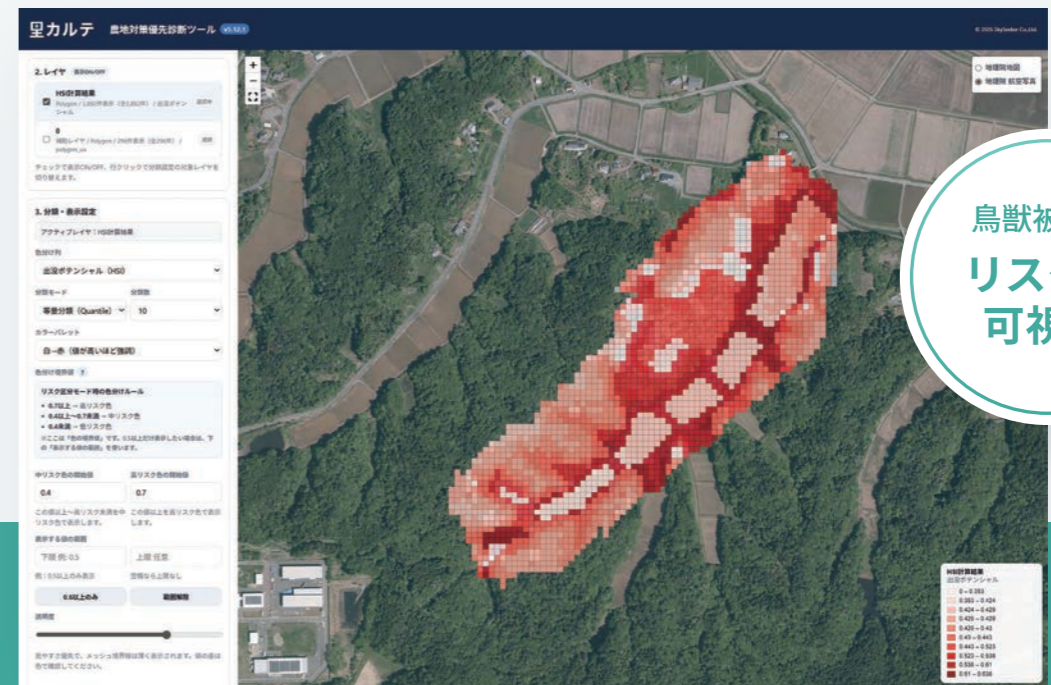


さと
里カルテ
SATO KARTE

特許
出願中

自治体向け「対策優先診断サービス」

鳥獣被害対策の優先順位を "データ"で決める



鳥獣被害の
リスクを
可視化

「里カルテ」を導入することで、このような課題を解決します



どこから手をつけるべきか
分からない

広いエリアの中で
優先順位を決めきれない



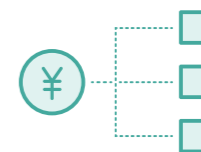
担当者や専門家によって
判断がバラバラになる

判断基準が異なり、一貫性を
保ちにくい



なぜその場所から
対策するのか説明できない

判断の理由を示す
資料や数値的根拠が不足しがち



限られた予算を
効果的に使いきれない

対策の効果が見込めるエリアに
予算を集中できない

ドローン調査で取得したデータと環境情報をもとに
独自アルゴリズム「ORDERIS (オーダリス)」によって
鳥獣被害のリスクを数値化し、「どこから対策すべきか」を明確にします。

対象の動物	<input checked="" type="checkbox"/> イノシシ	シカ
	クマ	サル
	アライグマ	キョン

※未チェックの動物については、順次対応予定です。

対応可能な環境	<input checked="" type="checkbox"/> 農地・集落周辺	養豚所周辺
	市街地	ゴルフ場
	交通インフラ	

※未チェックの環境については、順次対応予定です。

POINT 01



どこから対策すべきかが
一目で分かる

独自アルゴリズムにより、被害リスクをエリアごとに数値化し、対策すべき場所の優先順位を明確にします。

POINT 02



誰が見ても
同じ判断ができる

被害リスクを数値化することで経験に頼らず、誰が見ても同じ基準で判断できる状態を実現します。

POINT 03



そのまま説明に使える
資料が揃う

リスクマップや解析結果をそのまま資料として活用でき、説明や合意形成をスムーズに進められます。

対策の順番が整理されることで「すぐに次の一手を判断」できるようになります



現地の状況を把握

対策対象エリアの全体像を数値化し、全体像を把握



リスクを数値で評価

感覚ではなくデータに基づいて評価



被害リスクを可視化

被害が発生しやすい場所を見える化



対策の優先順位を明確化

どこから対策すべきかが一目で分かる



迷わず判断できる状態へ

数値的根拠をもって判断・説明が可能

POINT 独自アルゴリズムによって被害リスクを数値化



ORDERIS
(オーダリス)

ORDERIS (オーダリス) は、弊社で長年蓄積してきた調査データをもとに開発した「複数の環境要因と出没傾向をもとに被害リスクと対策効果を総合的に評価し、優先順位を導き出す」独自の解析ロジックです。

経験ではなく、データに基づいて判断

誰でも説明できる根拠を提示

同じ基準で比較・評価が可能

合意形成がスムーズに進む

活用シーン

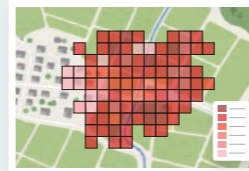
農地・集落周辺

対象動物：イノシシ

農地および集落周辺の地形や土地利用、現在の対策状況、森林との位置関係などをもとに、野生鳥獣の侵入・出没リスクを評価します。
被害が発生しやすいエリアを可視化し、広範囲に点在する対象の中から優先的に対策すべき場所を明確にすることで、効率的な対策検討と合意形成を支援します。

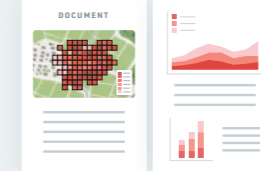


納品物



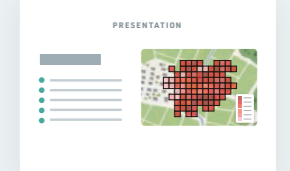
リスクが一目で分かるマップ

どこが危険かが直感的に分かり、対策エリアをすぐに判断できます。



判断に使える簡易報告書

調査結果と分析内容をまとめ、組織内での意思決定にそのまま使えます。



そのまま使える説明資料

関係者への説明にそのまま活用でき、合意形成をスムーズに進められます。

料金プラン

基本プラン

調査から分析、可視化までを一式で提供し、対策検討に必要な基礎情報を短期間で把握できます。

30万円～

30ha程度の場合
※調査環境・条件により変動します。

含まれるもの

対策の優先順位を判断するために必要な一式をご提供します。

リスクマップ
全体の危険度を可視化

簡易報告書
判断に使える形で整理

説明資料
そのまま説明に使用可能

撮影方法について

ドローン撮影は、以下のいずれかをお選びいただけます。

1 ご自身で撮影される場合
ドローンで撮影したデータをご提供いたします。

2 撮影を依頼する場合
当社が現地でドローン撮影を実施します。(別途お見積り)

オプション

まずは基本プランで全体像を把握し、必要に応じてオプションで深掘りできます。



1 判断をさらに深めたい方へ

損益評価オプション

被害額や対策効果を踏まえ、投資判断に使えるシミュレーションを実施



2 具体的な対策まで進めたい方へ

柵設置シミュレーション

被害リスクの高いエリアをもとに、効率的な柵の設置位置や範囲をシミュレーション



3 データ活用を強化したい方へ

GISデータ整備オプション

shp形式などでデータ納品し、既存システムでの活用をサポート



4 説明・合意形成を重視する方へ

説明会支援オプション

資料作成や説明会同席により、関係者への説明をサポート